

第 21 回 JCHO 玉造病院地域医療連絡協議会議事

日時 : 令和 7 年 11 月 10 日 (月) 17:00~18:00

場所 : JCHO 玉造病院 第一会議室

外部委員 : 松江市医師会 細田会長、松江赤十字病院 大居院長
松江保健所 片岡所長、松江市健康福祉部 松原部長
玉湯地区自治会連合会 福間会長

病院側委員 : 和田山院長、佐々木副院長、勝部副院長、三谷看護部長
宮川事務部長

- 院長挨拶

- 外部委員および病院側委員の紹介

- 外部委員 : 総務企画課長より紹介

松江赤十字病院 院長 大居 慎治 様

松江保健所 所長 片岡 大輔 様

松江市医師会 事務局長 河原 賢 様

(会長 細田 眞司 様 代理)

松江市健康福祉部 部長 松原 正 様

玉湯地区連合自治会 会長 福間 圭司 様

※松江市医師会 会長 細田 眞司 様 (※は御欠席)

- 内部委員 : 和田山院長、※佐々木副院長、勝部副院長、三谷看護部長
宮川事務部長 (※は欠席)

- 議事

1. 宮川事務部長より、運営状況等報告

- ① 令和 6 年度事業運営状況について
- ② 令和 7 年度上半期事業運営状況について
- ③ 令和 7 年度上半期の取り組みについて
- ④ 令和 7 年度下半期～次年度に向けて

2. トピックス（蛭子地域連携室長）

蛭子室長より「在宅療養後方支援病院の役割と取り組み」と題して報告が行われた。

● 質疑応答

○ 外部委員

松江圏域外からの紹介患者が増えている要因は何かありますか。

○ 内部委員

はっきりとした理由は不明ですが、新型コロナが落ち着いた影響で遠方からも患者さんが来ていると感じています。

○ 外部委員

今年度上半期の収支が黒字になっていますが、要因は何か考えられますか。

○ 内部委員

医業収益の増加に加え、医師や事務職の人員減による人件費の減少が要因の一つとして挙げられます。また JCHO は独立行政法人であり、人事院勧告に準拠した給与体系でないため、その面でも結果的にコストは抑えられています。

○ 外部委員

医療法に基づく立入検査で各病院に伺うと、病床数の減少や病床稼働率が下がっている病院が見受けられます。その理由として入院患者が減少しているか、平均在院日数が短くなっているか、もしくはその両方が考えられますが、先ほど玉造病院は入院患者が増えているとの説明がありました。すごく努力をされているなと感じました。

整形外科に限らず、内科の患者さんの退院支援をするうえで訪問リハビリのニーズがあるのではと思います。現在までの訪問リハビリの実績、あるいは今後の実施予定など教えていただけますか。

○ 内部委員

現在通所リハビリと訪問リハビリを実施しており、それを充実させたい思いはありますが、スタッフの人数に限りがあることから、今すぐ訪問リハビリを増加させることは難しく、当面は現状を維持しながら継続していく方針です。一方で、訪問リハビリを希望する患者さんが多いことは肌で感じているところであり、ニーズは増えていくと思われますので、それにどれだけ応えていけるのが今後の課題だと考えています。

○ 外部委員

在宅療養後方支援病院としての取り組みは、非常に興味深いです。ある学者さんの話では、「現在の病院で治療するスタイルはここ数十年で確立した形であって、今後その形はまた変わる可能性がある」とのことです。「在宅で治療しつつ医療がそこへ出向く“在宅医療”に戻る可能性がある」と、少数派だとは思いますが唱える方がいます。この取り組みはそれに向けた第一歩だと思います。個人的に非常に興味を感じていますので、その後の経過も報告いただけたらと思います。

今年度は、前年度以上に経営状況が良く、利益率が5%に近く改善していることに驚いています。患者さんも手術件数も増加しているとのことで非常に良いと思います。

○ 内部委員

経営状況については、さきほど人件費に関してお話しましたが、本来であれば賞与も人事院勧告並みを支給して黒字になればよいのですが、そのためには更なる増収が必要になります。人事院勧告に準拠している公立病院とは簡単に横並びで比較できませんが、より一層努力をしていく必要があると考えています。

○ 外部委員

退院患者について、県内では松江市が前年度と比べて増加していますが、その半分が宍道町の患者さんとなっています。なぜ宍道町の患者さんが増加したのか、特徴的な状況の有無と病院としての対策及び退院調整で困っている点があれば教えてください。

○ 内部委員

宍道町の患者さんが増加したはっきりとした理由が不明ですが、今年10月の在宅復帰率が地域包括ケア病棟は90%、回復期病棟は89%ほどで高い数値となっています。

退院調整に関しては、医療依存度の高い患者さんに対して医療処置をしてくださる介護施設が限られており、またそれにかかる料金も高額なため経済的な面を気にする患者さんが敬遠します。そうした医療処置が必要な患者さんは、療養機能を有する病院に転院していただくケースも多くありますが、退院調整に苦慮しているところ です。

○ 外部委員

11月1日に玉湯文化祭に出かけていただいて、当日は110人ほどの参加があったと聞いています。そうした機会を通じて、パネルなど使用して地域へPRしていた

できれば良いのかなと感じました。

○ 内部委員

玉湯文化祭への参加は今回が3回目で近年取り組み始めたところですが、今後も積極的に参加していきたいと思っています。ご意見ありがとうございます。

○ 外部委員

退院患者さんの紹介や在宅療養後方支援病院について、医師会の理事会で共有させていただきますが、是非、当会の医師が聴いて意見交換させていただきたい内容だと思いました。診療所は水・木曜日の午後が休診で、また日中13～15時は就業していません。当会議の内容を鑑みて、医師が出席し当会で周知・報告した方がより良いと思いますので、日程調整の際に考慮していただけると幸いです。

● 閉会の挨拶

○ 内部委員

本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。先程、在宅医療の重要性をお話しいただきましたが、介護施設を含めて患者さんが必要時に受け入れる病院があることの重要性は私たちも同じ認識です。整形外科の手術はその対極、別の分野になると思いますが、今後内科系にも注力して病院の支えとしてできれば、整形外科手術とは別枠として機能の充実を考えていきたいと思っています。

○ 内部委員

次回は来年3月ごろに予定しております。今回の議事録はホームページで公開しますので、後日、ご確認をお願いいたします。

では、以上をもちまして第21回の協議会を終了いたします。

本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございました。引き続きご支援ご指導のほどよろしくをお願いいたします。